

## 財政健全化判断指標の公表

平成 28 年度の決算報告と合わせ、地方公共団体の財政の健全化に関する法律(以下、財政健全化法)に基づき、健全化判断指標を公表します。

くわしくは 財政課 財政係 ☎ 21-5162

### 財政健全化法とは

財政健全化法は、自治体の財政破綻を防ぐため、国が財政状況をより詳しく把握し、悪化した団体に対して早期に健全化を促すためのものです。

この法律では、自治体が財政破綻しないようにチェックするため、5つの目安(指標)が示されています。一つでも基準を達成しない場合は、早期に対応しなければなりません。

### 5つの目安(指標)とは

#### ①実質赤字比率

一般会計を中心とした普通会計が赤字になった場合の、収入に対する赤字の割合です。普通会計が赤字でないかをチェックします。

#### ②連結実質赤字比率

国民健康保険事業特別会計や下水道事業特別会計などを加えた全ての会計の合計が赤字になった場合の、収入に対する赤字の割合です。全会計を合わせて赤字でないかをチェックします。

#### ③実質公債費比率

収入のうちどのくらいを借金の返済に充てているかを表した割合です。現時点での借金返済金額が大きすぎないかをチェックします。

#### ④将来負担比率

収入に対する実質的な借金残高(これから返済しなければならぬ借金)の割合で、借金残高から貯金を引いた残りの額が年間収入の何%になるかを表した数値です。将来返済しなければならぬ借金が大きすぎないかをチェックします。

#### ⑤資金不足比率

水道事業会計などの企業会計が赤字の場合の、事業規模に対する赤字の割合です。企業会計が赤字でないかをチェックします。

### 各指標の市の数値

右下の表のとおり、平成28年度決算において、市は③実質公債費比率が5.6%、④将来負担比率が54.5%となり、どちらの数値も早期の対応が必要となる基準を下回っています。

表：市の指標一覧

| 5つの目安     | 市の数値<br>(前年度比)      | 早期の対応が必要となる基準 |
|-----------|---------------------|---------------|
| ①実質赤字比率   | —                   | 12.09%以上      |
| ②連結実質赤字比率 | —                   | 17.09%以上      |
| ③実質公債費比率  | 5.6%<br>(▲0.6ポイント)  | 25.0%以上       |
| ④将来負担比率   | 54.5%<br>(+4.0ポイント) | 350.0%以上      |
| ⑤資金不足比率   | —                   | 20.0%以上       |

これらの数値を家計に例えると、年収の5.6%を借金の返済に充てています。また、将来的に返済しなければならぬ借金残高が、年収の54.5%ということになります。

前年度と比べた場合、③実質公債費比率は0.6ポイント改善しています。これは、高金利時期の市債の償還が終了したことにより元利償還金の額が減ったことや、合併特例事業債や臨時財政対策債など地方交付税で補填される割合が

大きい有利な地方債を活用していることが主な理由です。

また、④将来負担比率は4.0ポイント増加しており、前年度と比べて市の将来的な負担が増えていることを示しています。これは、合併特例事業債や臨時財政対策債など地方交付税で補填される額が増えている反面、二宮尊徳記念館や歴史民俗資料館、市民活動支援センターなどの建設事業の実施に伴い、地方債残高が増えたことによるものです。

なお、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、⑤資金不足比率については、各会計とも黒字のため表示していません。

財政健全化法の基準で見ると、市は早期に健全化のための対応を必要とする状況にはなっていない。しかし、地方交付税に依存していることや借金残高が多いことなど、財政状況が厳しいことには変わりはありません。こうした点にも注意しながら、今後も財政の健全化を図っていきます。

# ！ 弾道ミサイル落下時の行動について

北朝鮮による弾道ミサイル発射が実施された場合、一人一人に命を守るための判断が迫られます。有事の際の行動について、事前に確認しておきましょう。

## ◎弾道ミサイル発射直後の情報伝達

弾道ミサイルは発射から極めて短時間で着弾します。このため、ミサイルが関東、東北、中部地方に落下、または通過する可能性がある場合に、Jアラートを活用して、屋外スピーカーなどで特別なサイレン音と共にメッセージを流す他、緊急速報メールなどにより緊急情報をお知らせします。

## ◎ミサイル落下の可能性がある場合の行動

ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けることが重要です。

### ●屋外にいる場合

- ・避難施設に指定されているかは問わず、近くの建物や地下に避難する。
- ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。

### ●屋内にいる場合

- ・爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないよう窓から離れる。できれば窓の無い部屋へ移動する。

### ●自動車内にいる場合

- ・ガソリンなどに引火する恐れがあるため、車を止めて建物や地下に避難する。近くに適当な建物がない場合は、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。
- ・高速道路など、車から出ると危険な場合は、車を路肩などの安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして、行政からの指示があるまで待機する。

## ◎ミサイルが着弾した場合の行動

弾頭の種類(通常、生物、化学、核など)に応じて被害の様相や対応が大きく異なります。テレビやラジオ、日光市防災メールなどを通じて情報収集に努め、落ち着いて行動してください。

近くに着弾した場合は、次のように行動してください。

**屋外にいる場合**…口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。

**屋内にいる場合**…換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

## 日光市防災メールの登録方法

### 【パソコンから】

<http://service.sugumail.com/nikko-bousai/membar/>

### 【携帯電話・スマートフォンから】

[touroku-nikko-bousai@sg-m.jp](mailto:touroku-nikko-bousai@sg-m.jp) または、右のQRコードを読み取り空メールを送信してください。仮登録のメールを送信後、本登録が必要です。



## 屋外スピーカーなどでJアラートのテスト放送を行います

全国瞬時警報システム(Jアラート)の動作確認のため、全国一斉情報伝達訓練を実施します。国から配信された情報について防災用屋外スピーカーおよび戸別受信機を自動起動させ、テスト放送を行います。

○日 時 11月14日(火)午前11時ごろ

○対 象 日光・藤原・足尾地域の屋外スピーカー及び、すでに配布した戸別受信機から放送

※今市・栗山地域の屋外スピーカーは、整備中のため放送は行いません。

## 国民保護ポータルサイト

### ●武力攻撃やテロから身を守るために



[http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo\\_manual.html](http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html)

事前に確認しておきましょう

### ●ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます

首相官邸ホームページ



<http://www.kantei.go.jp/>

ツイッター  
Twitter アカウント  
首相官邸災害・危機管理情報

@Kantei\_Saigai

